

コンプライアンス確保のための取組

1 目標

- ・教職員としてコンプライアンス意識の高揚に努め、倫理観の向上と当事者意識の醸成、実践化を図る。

2 コンプライアンス7つの誓い ～信用失墜行為の根絶のために～

- た：体罰はしません（体罰の根絶・チーム対応）
- い：飲酒運転はしません（飲酒・酒気帯び運転の根絶）
- せ：セクハラ・パワハラ行為はしません（セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の根絶）
- つ：遣いこみはしません（学校徴収金の適正管理）
- で：データ漏洩はしません（個人情報管理の徹底）
- す：スピード超過はしません（交通事故・交通違反の防止）
- ね：ネットやSNSは正しく使います（ネット犯罪の根絶）

3 校内コンプライアンス委員会

- ・委員：校長・教頭・教務・生徒指導主事・特別支援教育主任・保健主事・研究主任
- ・校内の物的、人的環境の整備

4 コンプライアンス研修年間計画

- ・事例研修、ボトムアップ研修等、研修のマンネリ化を防ぐ工夫を行う。

月	研修内容	担当者
4月	サービス規律の確保について（全般） ・不祥事チェックリストを活用 ・第1回学校コンプライアンス委員会	校長・教頭 学校運営協議会委員
5月	飲酒運転の根絶 ・個々の飲酒傾向の把握（教員評価面談による話し合いを通して）	校長・教頭
6月	体罰・暴言による指導の禁止 ・全職員で全児童を見守る意識の徹底	教頭
7月	個人情報の保護 ・成績処理等に関する取扱い ・第2回学校コンプライアンス委員会	教頭 学校運営協議会委員
8月	飲酒・酒気帯び運転の根絶について ・グループ研修 児童・保護者等の意識、実態の把握（学校生活アンケートから） 当事者意識を高める ・全職員による裁判所傍聴研修（東京高等裁判所）	高学年ブロック 養護教諭 教務主任 教頭
9月	セクハラ、パワハラ等の防止 ・同僚性を高め、互いに注意・相談できる風通しの良い職場環境	教頭
10月	職場の現状チェック（教員評価面談による話し合いを通して）	校長・教頭
11月	情報モラルの高揚、個人情報の保護 ・グループ研修	中学年ブロック 特別支援担任
12月	交通法令違反の未然防止、飲酒運転の撲滅 第3回学校コンプライアンス委員会	教頭 学校運営行儀会委員
1月	職場の現状チェック（教員評価面談による話し合いを通して） 児童・保護者等の意識、実態の把握（学校生活アンケートから）	校長・教頭 教頭
2月	体罰・暴言による指導の禁止 グループ研修	低学年ブロック 栄養教諭、事務職員
3月	学校徴収金の適切な管理 ・「学校徴収金取扱要項」に沿った管理 第4回学校コンプライアンス委員会	教頭 学校運営協議会委員
【随時】	・不祥事事例等の周知徹底 ・「One IBARAKI」「信頼される学校であるために」等の活用	校長・教頭